

財団法人 日本クリスチャンアカデミー機関誌

はなしあい

2011年7・8月号

発行編集人

財団法人 日本クリスチャンアカデミー
理事長 シュベネマン クラウス

発行所

日本クリスチャンアカデミー
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
075(711)2115
振替口座 01020-1-5184

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第526号

「燃」の問題に取り組み」と記されている。六ヶ所村の核燃

紙12章15」とある。さらにその具体的な展開の課題として、目標の3には、「み心の地にもなることを祈りつつ、今日の社会の課題に

日 本キリスト教団奥羽教区 (秋田・青森・岩手) には、10年間にわたる長期宣教基本方針があり、その第5期目(2003~2012年度)

「私たちは、復活の主イエス・キリストが教会と世界の主で

証明された。



関東運営委員

太田 春夫

「さあ、共に生きよう」

私共家族は、奥羽教区・岩手地区に26年にわたってお世話になり、津波により大きな被害を被った釜石は、教会合併や会堂建築にも取り組んだ

ソーラー発電、風力発電、ソーラー温水、雨水再利用、井戸水利用システムなどを複合的に取り入れた「環境共生型礼拝堂」であり、小規模教会

知であった。大都会はどれほどの農産物、海の幸を地方から与えられてきたことだろうか。マンパワーとしての人材を、どれほど吸収してきたのだろうか。教会も同様である

(教団千代田教会牧師)

プログラム案内

◆関東活動センター

■聖書講座

『新しい聖書の学び』
講師：山口里子さん(フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクター)

日時：2010年6月~2011年3月の第1火曜日全10回(月1回) 18:30~20:00

⑤10月4日(火) ⑥11月1日(火)
⑦12月6日(火) ⑧1月10日(火)
⑨2月7日(火) ⑩3月6日(火)

会場：キリスト教会館 6階
参加費：1,200円(賛助会員1,000円、学生500円)

テキスト：山口里子『楽しい聖書の学び』(新教出版社)
*各自ご用意ください。

■今日課題プログラム

「核」と日本社会 ~原発事故後の今、日本はどう歩むべきか~

講師：武田徹さん(恵泉女学園大学教授)

日時：2011年9月3日(土) 14:00~16:30

会場：日本基督教団 番町教会
参加費：1,000円(賛助会員900円/学生500円)

■今日の課題プログラム

「津波を越えてさあ進め！」

講師：山浦玄嗣さん(医師)

日時：2011年10月8日(土) 14:30~17:00

会場：日本基督教団 信濃町教会

参加費：1,000円(賛助会員900円/学生500円)

共催：東京教区北支区

◆関西セミナーハウス活動センター

■開発教育セミナー

第4回「~フィールドスタディ~炭坑労働者のくらしと歴史を学ぶ旅in筑豊」
講師：犬養 光博さん(前日本キリスト教団福音伝道所牧師)

日時：2011年9月17日(土)13:30~18日(日)16:00

訪問地：福岡県田川市、飯塚市(現地集合、現地解散)

宿泊：筑豊ハイッ
参加費：20,000円(1泊3食込)

定員：20名

■修学院フォーラム「人と教育」
第2回「仲間とつながりあって、ハッピーに生きようぜ！」

講師：金森 俊朗さん(北陸学院 人間総合学部教授)

日時：2011年9月17日(土) 13:30~17:30

参加費：2,000円、学生500円

■神学生交流会

第2回「お茶を楽しみながら、神学とは何かを考える会」

講師：関谷 直人さん(同志社大学神学部教授)

日時：2011年10月8日(土) 13:30~17:00

参加費：500円(抹茶込)

東西南北

菅谷俊孝さん
関西セミナーハウス職員(食堂)
菅谷由紀子さん
関西セミナーハウス嘱託(食堂)
6月1日付で着任されました。

賛助会費・寄付金報告

2011年5月1日~31日(順不同・敬称略)

◆関東活動センター

賛助会費	
木岡 毅	5,000
吉田 豊	5,000
大橋 祐治	5,000
松島 美一	5,000
中井 博雅	5,000
真崎 みよ子	5,000
本間 勝	5,000
奈良 信	5,000
鈴木 百合子	5,000
清水 勝彦	5,000
宮嶋 真一郎	5,000
斎藤 宏	5,000
高徳 芳忠	20,000
神保 正男	5,000
吉崎 聡子	5,000

飯田 義雄	10,000
谷口 フジ	10,000
河波 昌	5,000
大鹿 康廣	5,000
大津 容伸	5,000
塩月 友子	5,000
横野 朝彦	5,000
藤野 冷子	5,000
小原 武夫	5,000
根津 建	5,000
立原 敬一	5,000
石川 左門	5,000
古賀 博	5,000
武藤 陽一	5,000
木村 恵子	5,000
ラン デス・ハル	5,000
山田 利三郎	5,000
飯島 陸輔	5,000
桃井 明男	5,000

小島 規似郎	5,000
八田 一郎	5,000
廣岡 正久	5,000
京都 Y.M.C.A	10,000
早川 良彌	5,000
飯田 義雄	10,000
平野 正	10,000
佐野 千枝子	5,000
浅田 涼子	10,000
福岡 誠之	5,000
根岸 宏邦	5,000
梅山 猛	10,000
大谷 光真	5,000
藤井 伸枝	3,000
白子 宗令	5,000
中山 晴美	5,000
古賀 暢子	5,000
米田 貞一郎	3,000
喜多村 やよい	5,000
真鍋 裕子	5,000
北風 照子	5,000
郷原 憲一	5,000
大下 道	5,000

寄付金	
橋口 仁	2,000
高畑 昭久	5,000
中井 博雅	5,000
日本カトリック神学院	20,000
宮嶋 真一郎	5,000
飯田 ざかえ	3,000
塩月 友子	50,000
藤野 冷子	5,000
無名氏	2,700

財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

理事長 シュベネマン クラウス

本部事務局
〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
TEL 075-711-2115
FAX 075-701-5256

関東活動センター
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館1F
TEL 03-3207-6198
FAX 03-3207-2478
E-mail: info@academy-tokyo.com

関西セミナーハウス/
関西セミナーハウス活動センター
〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
TEL 075-711-2115
FAX 075-701-5256

関西セミナーハウス
E-mail: info@academy-kansai.com

関西セミナーハウス活動センター
E-mail: office@academy-kansai.org

◆関西セミナーハウス活動センター

賛助会費	
森口 克洋	5,000
手銭 秀夫	5,000
上田 博嗣	3,000
西川 治郎	3,000
綱島 郁子	3,000
林 律	10,000
黒田 睦子	3,000
田辺 信子	5,000
新宗連大阪事務所	
生田 茂夫	10,000
木原 諄二	5,000
平林 喜博	5,000
木下 寿子	5,000
金関 毅	10,000
綱瀬 好子	3,000
田中 義信	3,000
松下 広子	5,000

寄付金	
木原 諄二	3,000
平林 喜博	3,000
廣岡 正久	10,000
小久保 正	100,000
植村 敏子	10,000
福岡 蓉子	5,000
西村 久代	5,000
松原 千里	1,500
相浦 和生	5,000
山本 一成	5,000
姫野 真知夫	5,000
白子 宗令	5,000
久世 礼子	3,000
米田 貞一郎	2,000
喜多村 やよい	10,000
郷原 憲一	5,000
大下 道	10,000

◆関西セミナーハウス

寄付金	
武藤 高司	10,000
なにわ会	9,074
飯島 陸輔	5,000

以上、感謝をもってご報告申し上げます。

関西セミナーハウス活動センター

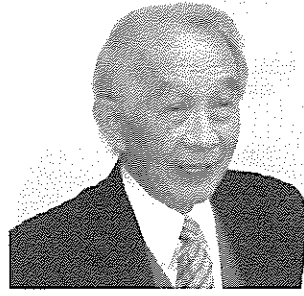
●2010年度 第3回「お茶とキリスト教研究会」
「禁制となったキリスト教はどんな弾圧を受け、どのように信仰を守っていったのか。—京のキリシタン史跡に思いを巡らせて—」

日本バプテスト連盟京都洛西教会牧師 杉野 榮さん

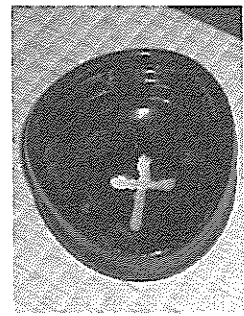
2011年2月11日(金祝)

第1部では、ルカによる福音書における、捨てるべき命と拾うべき命、失っても失われない命について黙想し、千利休が切腹を命じられてもこだわったことは何だったのかということから、命とは何かということを中心に黙想し、話し合った。

第2部では、8人ずつ茶室に出かけたが、残りの人は引



き続き話し合いをした。そういう意味では、今回はぜひぶん話し合う時間をとることが出来た。



第3部では、杉野榮先生からキリシタンについて話を伺った。長崎で死んだ26聖人は、長崎の人たちであると思っていたが京都の人たちであったと知って驚いた経験から、京におけるキリシタンの研究を始めたこと。ザビエルが京都にいたのはたった11日間であ

ったが、彼の報告を聞いて沢山の宣教師が京都に来て、聖堂と病院を建てたこと。秀吉が土地を捧げて支援したこと。しかし、気が変わった秀吉によってそこで働いていた医師や看護婦、走り使いをしていた少年までが逮捕され、耳を削がれて長崎まで連行された

こと。その後、京都には隠れキリシタンというものはいなくなつたこと。どこへ行ったのか興味をそそられることを話された。茶室とキリシタン灯籠の組み合わせを考えるとさらに興味がそそられることを話された。利休とキリスト教との出会いがあったことは想像できるが、お茶の確立にキリスト教の影響があったと

●2010年度 第2回神学生交流会
「現代日本におけるキリスト者の可能性」

浄土宗永運院住職 土肥 真司さん

2011年1月8日(土)

お寺の内側から見た実情や苦勞話を含めて、興味深い話をしていた。これから教会で仕事をされるであろう神学生にとって大いに参考になる話であったと思われる。特に、教会がお寺から学ばなければならぬ点として、檀家に対する働きかけである。キリスト教会にも日ごろは礼拝

に出来ない会員、親が信徒で子どもは教会に来ていないケース、会員であった親が死んで永眠者追悼祈禱のときしか来ない家族、そういう方々に対して丁寧な関わりを持たなければせっかくの繋がりを切ってしまうことになり、教会としては宣教上損失である。お寺も教会がやってきた活

動を取り入れて、仏教界の中では新鮮な空気を取り入れていると言われている。相互に、工夫や失敗を交換し合っていて、人々の心のケアをしていく宗教者になりたいと思わせられた。次年度の神学生交流会についても話し合うことが出来た。

関東活動センター

●連続講座
「新しい聖書の学び」全10回

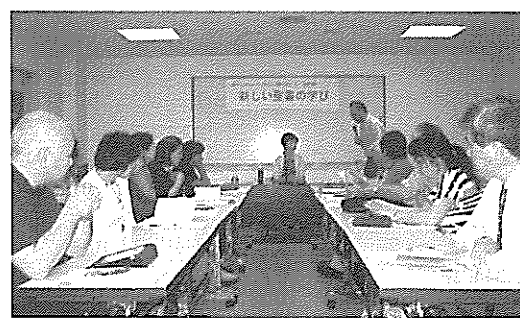
講師 山口 里子さん
日本フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクター

連続聖書講座「新しい聖書の学び」は、2011年6月から2012年3月まで、毎月第1火曜日、全10回の日程で開催しています。これは、2010年度に開催された「いま、聖書を読むとは」(講師・大貫隆東京大学名誉教授・自由学園最学部長)に続く第2弾です。
本企画は、関東活動センターにおいて、今後の定期的開催を視野に入れた準備してきたプログラムです。日本クリスチャンアカデミーは、その名の通り活動の根底にキリスト教を置き、幅広いプログラムを展開しています。しかし、その守備範囲と分野の領域の広さの故に、その立脚点があやふやになる危険性も背中合わせです。こうした現

実を踏まえて関東活動センターでは、活動の原点を再確認していくプログラムとして、直接に聖書に触れ、学ぶ講座を継続開催していく必要性を実感してきました。
また、一般参加者にも分かりやすい形で聖書を読み解くことを第一の目的としつつも、アカデミーのプログラムとして、学びを通じて現在のキリスト教や教会の現状を問い直し、今日的課題への示唆を受け得る講座を目指して計画を進めました。
そうした狙いのもと、第2回目の連続聖書講座の講師に日本フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクターである山口里子さんを招くことができて、感謝いたしております。

山口里子さんは1945年生れ、日本聖書神学校で学びました。1988年から、米国ハーヴァード大学神学部とエビスコバル神学校に留学し、1996年に同校より博士号が授与されました。米国滞在中、ストーリーポイント・センター常駐神学教師、ニューヨーク神学校・ニューアーク神学校の講師も務めました。帰国後、2002年より、日本フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクターを務めるかたわら、恵泉女学院大学をはじめ、聖心女子大学、日本聖書神学校などで教鞭をとっておられます。山口さんの著書・訳書は、*Mary and Martha: Women in the World of Jesus* (Orbis) 『虹は私たちの間に: 性と生の正義に向けて』(新教出版社) など多数あります。が、今回の講座においては、その近著『新しい聖書の学び』(2009年、新教出版社)をテキストに、以下の予定で講座を進めてくださっています。

「真理はあなたたちを自由にする」(ヨハネによる福音書8章32節)と、聖書には記されているにもかかわらず、とかく固定化された見方や伝統などで強固に枠づけられて聖書は読み解かれ、キリスト教が解説されています。そうした枷から解かれた聖書の学びを山口さんと一緒にしませんか。開かれた聖書の読み方を通じて、物事の見方も変わるでしょう。途中からも参加できますので、あなたのご参加を心からお待ちしています。



- ◆講義予定
- ①6月7日(火) オリエンテーション、古くて新しい聖書
- ②7月5日(火) 創造物語
- ③8月2日(火) 「出エジプトの物語」
- ④9月6日(火) 神のイメージ
- ⑤10月4日(火) イエス誕生とその世界
- ⑥11月1日(火) イエス運動・福音の実践とヴィジョン
- ⑦12月6日(火) イエスの死と復活
- ⑧2012年 1月10日(火) 最初期キリスト教エクレスシア
- ⑨2月7日(火) エクレシアの父権制化
- ⑩3月6日(火) キリスト教の明日へ